



とよおか

# 議会だより

第 39 号

平成20年 1月31日

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



## 賀 春

新年の願いをこめて(河野大宮神社)

### 12月定例会

議会議長年頭あいさつ .....	2
12月定例会のようす／陳情・請願 .....	2～3
予算特別委員会の質疑から／議会活動報告 .....	4～5
一般質問のようす／議会活動を問う .....	6～11
委員会だより／行政視察報告 .....	12～13
「私の一言」／私がんばっています／編集後記 .....	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています

# 希望ある 明日の豊丘のために



08年 新春の朝

## 年頭のごあいさつ

### 自らの行財政改革の徹底と 議会の活性化に取り組んで参ります

村議会議長 下 平 豊 久



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には

すがすがしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年五月の改選後初の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、はからずも議長に選任されました。

爾来、各位の指導とご協力を賜り、微力ながら議会の円滑な運営と村政推進のため全力をつくして参りました。

改選されました十四名の議員はあらたに議員となられた方が五名で、地域や各種業界組織で指導的立場で活躍された多士済々の方々です。二期目で充実した議会活動が期待されます中堅議員の方は五名。三・四期の議員の方が四名とバランスのとれた議員構成となり、全体として議会の活性化が図られたと存じます。

定例会閉会中の常任委員会の開催や、一般質問席の変更による理事者と質問者の対面方式への改善等を進め、議会活動の強化に取り組んでまいりました。

本年は、第四次豊丘村総合振興計画が後半の五年目に入る最初の年度であります。

人口増対策・子育て支援と医

師確保対策・旧役場跡地利用と文化施設整備・自立支援法や後期高齢者医療問題・天竜川架橋問題等々懸案事項は山積いたしております。

豊かな自然を生かし、安心して暮らせる村づくりのため、厳しい情勢の中でわれわれ議員の果たすべき役割と責任はますます増大し、個性豊かな活力ある地域づくりを積極的に推進することが求められております。

このような現状をふまえ、私たち議員も村民の代表としての責務と役割の重大さを深く自覚し、決意を新たに自らの行財政改革の徹底と議会の活性化に取り組んでまいれる所存であります。

今後とも、変わらぬご支援ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

今年も天候に恵まれて平穏な年でありますよう祈念するとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



# 第四回定例会

## 下水道料金、四月より値上げに — 村債(借り入れ金)、一部繰り上げ償還 —

第四回定例会は、十二月七日より十二月二十一日までの十五日間の会期で行なわれ、条例改正案五件、補正予算案五件、認定一件、陳情・請願八件の審査審議が行われ十二月二十日閉会した。

### 下水道料金、平均で六・四六パーセント上げ — 条例改正案を可決 —

下水道使用料徴収条例の一部を改正する条例は、十一月十六日、下水道使用料審議会(川中島敏人会長)よりの答申を受け、それにそう形で提案されたもので、その内容は、  
・世帯割(一世帯あたり)を現行の一〇〇〇円から一〇六〇円に、人員割(一人あたり)を現行の六〇〇円から六四〇円に改正する。  
(平均上昇率六・四六パーセント)

ント)などとなっております、

改定理由として、

- ① 供用開始から一定の年月が経過し、既存下水道施設を計画的に修繕するにあたり、必要となる費用を使用料収入で確保する。
- ② 現行使用料からの上昇率は、世帯人員数の大小があっても大きな偏りが生じないようにする。
- ③ 合併浄化槽地域との均衡を考慮する。
- ④ 長野県内の平均下水道使用料を考慮する。

と、なっている。

この提案を付託された総務産建委員会で十二月十一日に審議され、全会一致で可決、二十日本会議に送られて本会議でも全会一致で可決成立し、二十年四月一日から条例施行となる。



### 簡易水道

#### 起債を一部繰り上げ償還

国の法律の改正により、過去の起債に対する繰り上げ償還が

補償金なしで認められるようになったことを受け、村からこの際、利率が、七パーセントを超える高い利率のものについて、三件起債償還元金合計五五四八万円の繰り上げ償還について提案がなされ、議会もこれを認めた。

その財源は、規定により、一般会計から二二一九万二千円、簡易水道特別会計からは、予備費から三七八万八千円を取りくずし当てるものとする。

この繰り上げ償還により、約九七〇万円の今後生ずべき後年

度負担をしなくて済むこととなる。その他、一般会計では、南小

全体で、八八万三千円を追加補正する補正予算を全会一致で可決した。



### 請願・陳情

◎後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情  
委員会での不採択を本会議では7対6で採択

◎「自主的な共済を保険業法の適用除外とする」旨の国への意見書提出を求める請願  
— 採 択 —

◎「公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確保を求める意見書」の提出を求める陳情  
— 採 択 —

◎「六ヶ所再処理工場の本格稼動に反対し、その中止を求める意見書」の提出を求める請願  
— 採 択 —

◎学童期障害児の支援の充実を求める請願  
— 採 択 —

◎保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択についての陳情  
— 採 択 —

◎深刻な医師不足を打開するための法律制度を求める陳情  
— 採 択 —

◎「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める陳情  
— 採 択 —

# ユニホーム年次計画で調達

## 平成十九年度補正予算の予算特別委員会 審議の主な内容

### 地下式消火栓

#### 村内に二ヶ所

片桐(秀)議員 地下式消火栓とはどういうものか。分かるようになってきているか。

産建課長 伴野工場には消火栓をつける場所がなく、地下式とした。看板があり、ふたを取りホースを差し込めばいいようになってきている。

唐澤議員 ホースの格納や場所はどこか。

産建課長 格納は消火栓のすぐ近くにある。場所は伴野と中央保育園近くの新しい住宅団地付近。

### 有線のビデオカメラ 一台新調

川野議員 有線備品購入費、ビデオカメラ故障で購入とあるが、修理したりレンタルで対応できないのか。また現在何台あるのか。

総務課長 カメラは小型二台、大きいもの一台。一台は修繕から返ってきたが、修理してももう修理しようがないという所まで来ている。リースも探してみたが、そういうものは無かつ

た。デジタル化に対応できる物であり無駄ではない。

片桐(秀)議員 伴野公民館にかかわる設計監督委託料の説明を。産建課長 建設される伴野区民会館への下水道本管付け替えて、

県道から公共マスまでの間に人家があるため迂回する。

松村議員 小学校費にある運転委託料は部活に関するものか。

総務課長 学校で総合学習の一環で、村内施設を見学に行くためのもの。

川野議員 諸費修繕費の説明で万年橋照明とあったが村でみなければならぬものなのか。

総務課長 橋の一番上部にあるもので、三灯ある。大型車通行の際壊れたものもある。これは豊丘村で県に占用特許を取ってつけているもの。

片桐(秀)議員 ひまわり学園負担金とあるが、もう少し説明を。

住民課長 「療育センターひまわり」への新しく入所される方一名と、運営で生じた不足金。

太陽光発電パネルを中央保育園・スポーツ館屋根に

### 丸岡議員 中央保育園とスポーツ館屋根に

太陽光発電パネルを中央保育園・スポーツ館屋根に

ついて詳しい説明を。総務課長 いったん載せると長いこと屋根の塗装が出来ないのであらかじめしておく。「おひさまファンド」という会社と契約。昼間のあまった電力は中電に売却するシステム。

片桐(秀)議員 深夜の需要との関係ではどうなるのか。

総務課長 夜の方はどうしても中電から買う必要がある。損得

で豊丘村に利益が出るわけではなく。環境にやさしい電力というところで、環境対策の一環である。

### 日赤奉仕団員に 前掛けを支給

#### 川野議員

日赤奉仕団に配布するまえかけは、どの範囲までなのか。

住民課長 二〇〇〇円のものをして七十着分、幹部の皆さんおよそ三十名、二年分で十四万円。全

団員八〇〇名なので今回は全員分はどういうものか、ということとでとりあえずこういうことで。

川野議員 今までの白いものは個人もち、

全団員に行きわたるよう配慮してほしい。

## 議会活動報告 十月～十二月

### ◎十月

六日 西川ひかる講演会  
九日～三十日 村政懇談会

十日 議会だより編集委員会  
十五日 郡町村議長会視察研修

十八日 総務産建委員会  
社会文教委員会

十九日 議会だより編集委員会  
二十三日 北部ブロック町村議会議員総会(大鹿村)

二十九日 広域連合あり方研究会  
三十日 長野県町村議長会定期

総会  
三十一日 全員協議会

◎十一月  
十四日 三遠南信サミット  
(飯田市)

十六日 総務産建委員会  
社会文教委員会

十九日 広域連合議会  
(正副議長)

二十日 広域連合連絡協議会  
二十二日 全国町村議会正副議

長研修会(東京)

二十六日 全員協議会  
議会運営委員会

委員長会

三十日 第五十一回町村議会議長全国大会(東京)



# 予算特別委員会の質疑から 村民グラウンドに駐車場増設 日赤奉仕団の

## 源道寺の貯水池

### 漏水を修繕

唐澤議員 源道寺貯水池修理とあるがどういふものか。

産建課長 貯水池の漏水修理で底のほう割れているためです。

唐澤議員 道路新設改良費四百九十五万円についてもう少し説明を。

産建課長 来年度予定の伴野工業団地線道路設計費四百五十万、河野区民会館駐車場入り口道路に関する分筆に四十五万。

唐澤議員 道路新設にかかる旧役場の新道側からの入り口の部分はどのようにやるつもりか。

産建課長 既存の道路拡幅と、入り口部分のマチの分、クランク部分をどうするかはこれから。

残地部分は個人的に必要な人もないので。

## 柿外土の村有地に

### フェンス設置

菅沼議員 土木費のなかの工事請負費、村有地造成費についてはどういふものか。

産建課長 吉川医院の横に、一貫道路建設の際に住宅移転を見込み平成六年に購入した土地がある。必要が無くなり今回住宅地とするため造成とフェンスの設置を行うもの。

菅沼議員 進入路については。

産建課長 県道側から四m道路がある。

丸岡議員 寺沢川の黒谷橋の修繕の遅延理由は？？住民へ説明を。

村長 来年度の予定、簡単な修繕では済まないほど老朽化している。金のかかることであるので来年度有利な制度を貰い架ける予定。それまで通行止めとしたい。

前沢議員 予算説明では、合併浄化槽設置繰入金に五人槽と七人槽とあったが金額的にあうのか。

産建課長 五人槽が一分です。七人槽はない。

菅沼議員 源道寺貯水池調査費があるがどのような方法で修繕するのか。

産建課長 貯水池からの漏水で、方法としては防水シートで漏れを防ぐと思う。

## 村民グラウンドの上に

### 駐車場を造成

丸岡議員 村民グラウンド駐車場について、東側観客席と既存駐車場の間に確保する案も出ていたがそれはどうなったのか。

教育委員会事務局 そこに確保する案も協議の段階で検討されたが構造物が多数あり効率的に確保できず、お金もかかることが判った。トイレ付近から、アスレチックにかけての部分がお金

の点でも、強度的にも一番良いということになった。

## 灯油値上がりの

### 対応は

唐澤議員 最近の灯油の値上がりが続いているが学校施設は燃料代は大丈夫か。

教育委員会事務局 当初予算を組んだときより二〇%くらい値上がりしている。これからの使い方次第だが必要があれば三月の補正で。

村長 総務課で、各課に無駄な使い方をしない様に通達を出している。

前沢議員 デイサービスなどの施設は節約してがまんすると言う訳には行かないので、必要なのは確保してほしい。

壬生議員 給食センター修繕料についてはどの部分か。

教育委員会事務局 ボイラー本体横の外からの雨漏り部分。

松村議員 有害鳥獣の関係は現状どうなっているか。

産建課長 鹿が当初予想より多く取れた。最終的に必要あれば補正予算で対応したい。

松村議員 イノシシの毛が抜ける病気があるようだが、家畜等への伝染の心配はないか。

産建課長 実態としてはつかない。

でいい。

◎十二月

一日 みちシンポジウムイン駒ヶ根（下平総務産建委員長）

二日 東海豊丘会設立総会

四日～六日 議員視察研修

（四国班）八名参加

七日 第四回定例会 開会

議会運営委員会

全員協議会

十日 議会、だより編集委員会

十一日 総務産建委員会

十二日 社会文教委員会

十四日 予算特別委員会

吉川玲前議長掲額式

十七日 一般質問

二十日 第四回定例会 再開

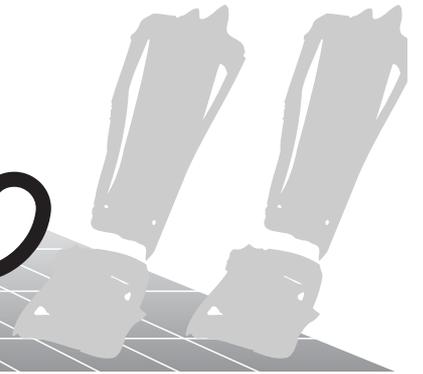
全員協議会

二十五日 広域連合あり方研究会



太陽光発電設置予定施設（中央保育所・スポーツ館）

# しつもん



## 質 有線電話の今後の取り組みについて 答 住民にアンケート調査を

川 野 孝 子

質問 村内あちこちで有線電話が通話の出来ない状況が発生しているが村はどこまで把握しているのか。

村長 有線電話の加入者が千八百五十三戸で発信試験を行った結果、使用不可と思われるのが七十九戸であった。役場内にあるセンター設備について修理出来ない状況である。

質問 いつどの段階で有線電話の廃止を決断するのか。

村長 来年になったら、住民の皆さんにこの整備をすすめるについて、どのくらい費用がかかるかといった事も含めたアンケート調査を実施したい。その結果も含め今後の対策については議会にも相談をかけていきたい。有線電話が使えなくなった時どんな対策を考えるかについては、アンケート調査後に考えていきたい。

### 福祉タクシーの利用料金の支払いについて

質問 福祉タクシーの利用料金についてはタクシー会社との間で千四百万で契約が

成立していると思うが、タクシー料金の値上げが認可され、三月末までには千六百万位になることが予測されている。契約金額をオーバーする分について、どのような支払いをしていくのか。

村長 契約金額を利用料金が下回った時は減額変更をすることになっている。増額の場合は特に規定がない。タクシー会社とは協議を重ねている。



放送施設は整ったが、通話が課題

# 活動のあり方

新しい議員が選出されてから十ヶ月が過ぎました。

この間に、三回の定例議会における一般質問が行われ、活発な政策論議が展開されました。

一方、幾つかの村政懇談会場で、本会議における議員の発言について、議員の品位を疑うとの厳しい指摘と、改善を要望する質問がだされました。

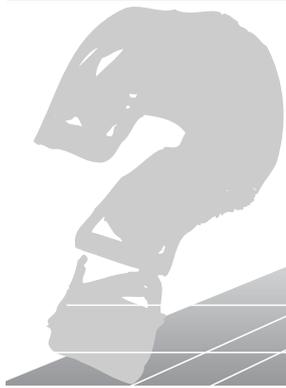
議員からは、指摘に対しまして真摯に受け止め、議会活動の活性化と品位向上に努めて参りたい旨の答弁をいたしました。

議会全員協議会において、議会運営委員長を座長に、議会活動のあり方について意見交換を行いました。

議会活動における発言は、粘り強い調査・研究活動に裏打ちされ、正確な資料・情報に基く発言を心がけることを確認しました。

もちろん議員の発言は、何等の制限を受けるものではありません。

自己の責任において自由闊達な発言、提案を行い、村民の付託に応えることが議員活動の基本であります。



# いっぱん

## 質 福祉タクシーの年齢引き下げは

### 答 できれば四月から実施したい

片 桐 秀 人

**質問** 福祉タクシー利用者の年齢の引き下げについて、村長はマニフェストや同僚議員の質問に対して、年齢引き下げを行いたい旨の表明をしている。私も村民の方々から強い要望を受けているが、実施時期を明確に答弁を頂きたい。

**村長** 今、内部で調査中で、できれば四月から実施できればと考えている。一挙に七十歳というのはちよつと乱暴かなと言う感じを現在はおもっている。

**質問** 高齢者の移動手段を確保することで、医療費や介護保険などの社会保障費の抑制効果があるとする大学教授の話があるが、豊丘村は平成十二年度から福祉タクシーを実施しているが、似たような効果が検証されているか。

**住民課長** 特別な分析は行っていないが、普段から医者にかかることで、個人の病気の把握ができ、大病を未然に防ぐことになり、ひいては抑制につながると推測している。

**質問** 障害者自立支援法は国の行う事業と市町村が行う事業がある。飯伊では福祉サービスの単価を統一して決めているが、豊丘村単独で単価を設定する必要がある場合どうするか。

**住民課長** 飯伊の協議会で決めているという経過があるので、最初は広域の協議会で審査してからということになる。

**質問** 市町村が行う相談支援事業について、共同設置している自立支援協議会が事業評価を行うことになっているがどうか。

**住民課長** 「これから実施したい」と聞いている。



大切な移動手段になっている福祉タクシー

# よりよい議会

会議の中で、「自分の発言に対する意見と思う。」「発言の真意が正確に伝わらなかつた。」「表現方法には今後注意し、自己の政策や考えを発言していきたい。」との発言があり、また、「時間がなく十分自分の意見を発言できなかった。」「出来るだけ早い時期に引き続き意見交換の場を。」との発言がありました。

議場のようす



質 消防団員に訓練免除制度を

答 時間をかけ再検討の余地あり

松 村 正 三

質問 今、村が消防団員、そしてその家族に対して、処遇改善などの面で少しでもできることはないだろうか。

消防団員は、その年齢からいって、子育て真っ最中の年齢層であること、

家庭、職場、消防団の中にあつて、特に家庭での子供とのかかわり方などで父親として悩みも多いとのこと。

近年家族構成やライフスタイルなど、かつてのそれとは大きく変わっていることなど。

一方村は、消防団員確保が難しさを増してきていること。

人口増対策を重点に置いていくこと。

より良い家庭づくり、地域づくりを目指していることなど。

以上のような点を考えますと私自身、その経験をふまえた上で、家庭と消防団（公的機関）とのかかわりなどについて考えてみた。

そして、私の考えが今後消防活動に与える支障の有無についても、時間をかけて考え、吟味したつもりである。

その結果として、私の考えでは子育てにもっとも大変と思われる、お子さんの出生から一年

間、子育て支援そして子供の育ちへの支援としての訓練免除期間を制度として、村の積極策の一つとして、消防団員に与えることは出来ないものか。

村長 団員確保、消防活動への理解などに方策を講じているし、今後の負担軽減策も考えている。

議員の提案は、再度検討させていただくこと。

もう少し時間をいただいて、相談をしてまいりたいと思っている。



むずかしくなる団員確保（出初め式）

質 AEDの普及について

答 緊急時すぐ使えるよう心がける

片 桐 眞 理 子

質問 AEDとは、ケイレンを起こした心臓に電気ショックを与えて正常の状態に戻す医療機器である。現在は大人だけでなく一歳から八歳まで

使える状況にあり一般の人の使用が可能になつていく。講習を受けてきちんと使える人が

いる事。誰もがわかる場所にある事。スポーツ大会などの時は、貸出す事も必要である

と思うだろうか。

村長 村では南北小学校と中学校と役場庁舎に計五台設置してある。保育園はまだなので今後の課題である。貸出しも可能である。学校等では先生がいらないと使えない状況であるので

緊急の時はすぐ使えるよう心がける。

公園内に健康遊具を

質問 子供から大人まで遊びながら健康予防にも役立つ背のばしベンチや、小石を敷きつめた道を歩くことで足裏

マッサージができるなどの遊具があるが、これらの設置はどう考えるか。

村長 人によって合わない事もある。その人に合ったものを考え自分で管理する事が大事。遊具を置く事は疑問である。



使える人がふえてほしいAED

村政懇談会のあり方について

質問 せっかく開いても参加者が少ないのもつたいない気がする。出向く事。また多くの人が参加できるように、

や、若い人が参加しやすいよう、昼間や土、日の開催についての考えは

村長 村民の声を行政に生かす事が本来の趣旨。要請があればそれに応えて

いきたい。若い人との懇談も願って

ない事だ。



北部地区で年間400人が利用している飯田市火葬場

一体当たりの利用料は(維持管理費、人件費償却費他)十万円を越える経費となる。

必要最小限の火葬場で三億から五、六億という所である。

観ると二基の炉の建設費のみでは必要最小限の火葬場で三億から五、六億という所である。

は必要最小限の火葬場で三億から五、六億という所である。

観ると二基の炉の建設費のみでは必要最小限の火葬場で三億から五、六億という所である。

## 質 火葬場の建設は豊丘村へ 答 前向きに研究したい

菅 沼 敏

質問 先に行われた「北部五町村長と地方事務所長との懇談会」で火葬場を共同設置へ研究するとの報道がされた。此の施設の誘致に当たって、「豊丘村は北部五町村の中心地域である」、「道路事情がよい」、「天竜川架橋への優先的位置づけ」、又、「住民サービスを近くで受けられる」等、更には村の将来を見据える中で一番先に手を挙げ受け入れるべきと考えるが村長の考えは。

村長 北部地域は四万の人口があり飯伊の中で相応の力を持っている。その中で豊丘村は対等に役割を果たせると思っている。財政負担が必要と予想されるが覚悟の上である。天竜川架橋への位置づけ、北部五町村の中心地域である事も踏まえ前向きに研究したい。

質問 昨今「火葬場を迷惑施設」と思う人は少数派になったとはいえ、施設を受け入れるとなると村民、地域住民の創意なくして実現は難しい。七区長始め関係者による諮問機関を立ち上げるべきと思うがお考えは。

## 質 保健事業と特定検診 答 国保以外の扶養者も対象とする

前 沢 光 昭

質問 来年四月から高齢者医療確保法に基づいて、従来の病気を発見する成人病検診から、メタボリックを重視した特定検診に変わる。従来の検診は成人なら制限はなく、国保加入者、国保以外の扶養者も安心して受診できた。特定検診の対象は四十歳から七十四歳までの国保加入者であり、国保以外の扶養家族は対象外となるがこれを豊丘村としてどうするか。また平成二十四年までに受診率六十五%達成しないと国からのペナルティーが課せられるが達成の見込みは。

市町村の相談援助体制を早急に執ることとして考えるか。また中学校での消費者教育をやるべきでは。村長 村では今までに相談に来た人はいない。村内の実態はつかめていない。体制は相談マニュアルがあるのでそれにそって専門家と連絡を密にしていく。

教育長 大事なことなので教育委員会等で必要な場面で取り扱えるようにしていきたい。

### 多重債務者対策について

質問 多重債務者が急増し社会問題となつてきている。日本全体では千四百万人が消費者金融を利用、二百万人の多重債務者がいると言われ、政府も対策をたて有識者会議ではその一環として、



4月から変わる成人病検診

質 住民満足度調査をどう活かすか

答 真摯に受け止め役立てる

丸 岡 茂

質問 先に行われた村民（抽出）の行政に対する満足度調査の結果を、行政運営の参考とし活かすために質問したい。二十代に「分らない」三十代に「不満」が多い。若年層への対策の欠如では。村長から何らかの語り掛けをしようか。

村長 調査方法や関心の度合いにも起因する。語り掛けのよききっかけづくりを考えたい。

質問 環境や景観形成の面で「不満」が非常に多い。推進はどんな態勢で行っているか。

村長 主管課は産業建設課という事になるが、各分野で心がけた総まとめがこれにつながっている。

質問 村の将来に向けこの分野が重視された住民の回答は貴重。村長の回答のことがより有効・確実に行われるよう、横断的に調査できる機能を考えてほしい。「学校教育」では、全体として「満足」の回答だが、肝心の三十代は「不満」と応えている。どう受け止めるか。

教育長 気にかかっている。学校現場に対するもの、教育への支援態勢、教師と保護者の関係

等が考えられる。信頼や連携がまだ十分でないと感じ止める。  
質問 保護者の要望等は、どのような形で掌握しているか。  
教育長 直接寄せられる場合もあるが、主には毎月の教育委員会で校長から報告を受ける。  
要望 一生懸命子供を育てたいからこそ、学校への要望不満も出てこようかと思う。その観点から対応を願いたい。



調査結果まとまる

質 要介護者の障害者控除の拡大を

答 認定の改善を検討していく

唐 澤 啓 六

質問 認知症高齢者や障害高齢者（要介護認定を受けている高齢者）の課税所得控除（障害者控除）の認定の範囲について、当村ではこれまで要介護四と五の方に限って、認定証の交付をしてきた。しかし、多くの市町村ではもっと幅広く要介護度の軽い高齢者にも認定証を交付している。中には要介護一以上の全ての高齢者に交付している自治体も他県にはある。又、近隣の市町村でも高齢者の日常生活自立度に応じて判定する結果、要介護一〜二程度でも交付するケースがあると聞いている。本村においてもこの取扱いについて改善すべきと考えるが。

村長 今年の二月、県よりこの取扱いについて調査があった。  
今年度から要介護度に加え、障害高齢者、認知症高齢者の日常生活自立度を加味して認定証を交付していきたい。  
住民課長 県下八十一市町村中、当村を含め十一市町村が見直しを求められた。要介護四と五以外の人の判定について今後検討をしている。



河野黒谷線工事現場

小規模工事等希望者登録制度の実施を

質問 村が発注する小規模な工事や修繕の受注、施工を希望する者を登録し、受注機会を拡大して地域経済の活性化を図るため、「小規模工事等希望者登録制度」の取りくみを検討してはどうか。  
村長 小規模な工事や修繕は入札資格に関係なく、村内の業者に依頼してきた。お互いに顔の見える当村では、特に制度を設けなくても地元業者を優先できると考える。



地形的な差はあるが平等感が望まれる (本村地籍)

質 村民の負担が平等であるのか

答 交付金の内容も含め、対応したい

壬 生 章 男

質問 私は、豊丘村に住む村民が地域によって負担が公平ではないという思いから、以下の件について伺いたい。

まず、道路問題については下段、中段、上段では大変な負担の差があり、下段の人たちが二時間くらいで済む草刈りも、山間部の人たちは半日かかって刈りきれない状況で道路維持を行っ

ている。又、冬季の除雪作業にも、大変な差が生じている。村内には年に一度も雪かきを持ったことのない人もいれば、何十回と雪かきをしている人も居る。

又、七区の区費では、少ない区の三倍の負担をしている区もあり、自治会費においては一番少ない自治会と多い自治会では十倍の差があるのが現状だ。

こうした状況を見ると山間部の区、自治会の方が大変な負担をしていると認識できる。そこで村長に道路問題等の負担の平等性についてお伺いしたい。

村長 山間部の皆さんについては、若干の特別交付金を出させていただいている。以前、区長さんとも話し合いを持ちその際は「現状で」とお願いしたが、だいぶ前の話で、その後、区長も交替している。又、時代も変化している。今後本気で考えていきたい。具体的には内部での詰めをし、交付金の内容を検討していきたい。

質 財健法〇八年適用と今後の見通しは？

答 今は問題無い。健全財政に心がける

片 桐 義 憲

質問 財政再建法に替わって、財政健全化法が施行された。この法律は、二〇〇八年度決算より適用を受けると聞いている。四つの指標を用いて健全団体が、否かを判断される。現在、二〇〇八年度予算編成を迎える時であり、村として二〇〇六年度決算より、その指標の数値を試算する必要がある。

先の全国町村長大会で、地方の財政危機を訴える中、十分な予算確保を国に求めたと聞いてもいるが、今後の見通し、新法の見解について村長に、又、現段階における取り組みについて総務課長に伺う。

村長 旧財政再建法に比べ、早期是正の措置と地方公営企業法の経営再建制度部分が加わって、自治体財政をより広い範囲で健全化、再生させるのが目的と聞いている。現時点では問題が無い。今後も有利な起債以外は、できるだけ借金をしない等、健全財政の運営に心がける。

総務課長 実質公債費比率は、十八年度十二・六%。実質赤字比率はゼロ。連結実質赤字比率もゼロ。将来負担比率



健全財政とともに、戦略的事業展開を (中平団地)

においても心配は無く、財政健全化基準の率までは到底達することは無いと認識している。

意見 経営不振の公営企業や、第三セクター事業導入が無かった事が幸いと思うが、反面、村の特徴、インパクトが無いとの声がある。硬直化が進む昨今であるが、新規、既存産業の振興に積極的な予算付けが必要と思われる。

# 総務建 産

## 若干の職員給与引き上げの 条例案を可決

十二月議会では条例一部改正

て報告致します。

議案五件と請願・陳情三件（含む継続審議）が総務産建委員会へ付託されました。結果的には議案・請願とも全件可決・採択となりました。紙面の関係上、全件は取り上げられませんが、活発な議論がされた議案について

# 委員会だより



伴野下水処理場

給与からは理解し難い旨の発言もありましたが、村民の規範となり、より一層の努力を村の為に尽し、公僕としての任務を遂行していただくべきとの結論で全会一致で可決致しました。

商工業振興条例の一部を改正

し、豊丘村へ進出した企業に対し三年間の固定資産税の減免を行うとする議案に対しては、対象を工場だけに限ってしまうのではなく、時代も考え他産業も視野に入れての施策の展開が他町村との差別化になり、より有効ではないか、また既存の村内企業との整合性なども話題とな

りました。

下水道使用料審議会からの答申をもとに下水道使用料を平均で約六・五%値上げしようとする議案の審議の中では合併浄化槽地域と下水道地域の住民負担の公平性が議論されました。

下水道特別会計には一般会計から年間に約二億円が繰入れられ、下水道を建設した時の設備の償還金に当てられています。この恩恵を受けられない浄化槽地域の村民とのバランスを理事者は解決する必要があると言えます。

総務産建委員長 下平喜隆

## 社会 文教

### 五件の請願・陳情を 慎重審議

今定例会、社会文教委へ付託された請願・陳情の概要は以下の通りです。

◎学齢期障害児の支援の充実を求める請願……学齢期（十八歳まで）にあたる障害児の障害の軽減を図るため、児童デイサービス事業や地域生活支援事業の充実を求めるものです。（全会一致で採択）

◎保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択について

の陳情……歯科診療ではこれまで新しい治療法がほとんど保険扱いにならず、又、診療報酬も三回続けて引き下げられています。

患者負担を増加されることなく、保険で良い歯科医療を確保するため診療報酬の改定と、普及している技術の保険適用を求めるものです。（全会一致採択）

◎深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める陳情

全国で大きな問題となっている医師不足の解消を図るため、医師の養成を大幅に増やし、医師確保に向けた必要な法律の制定を求めるものです。（全会一致採択）

◎「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める陳情……看護の現場は、過酷な勤務実態の中、離職が相次ぎ、看護師不足が深刻な問題となっています。労働条件改善のための法律改正や、看護師養成と確保を図るための必要な対策を求めるものです。（全会一致採択）

◎後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情……九月の定例会でこの制度の改善を求める陳情が採択されましたが、今回は中止を求めるものです。議論の末、賛成少数で不採択となりました。（なお、本会議では逆に採択となりました。）

社会文教委員長 唐澤啓六



視察研修報告

香川・徳島への  
議員研修を終えて

平成十九年の議員研修が昨年十二月四日から六日まで  
の日程で四国方面へ実施された。(参加議員は八名。残り  
六名は日を改めて九州方面で計画中)

安全な飲料水の

確保の取り組み

—香川県多度津町—

一日目は香川県多度津町で行  
われている「高度浄水処理施設」  
の視察を行った。香川県は、も  
ともと水が少なく至る所にタメ  
池があった。特に浅井戸が多く  
豪雨や施肥等による水質汚染が  
早くから心配されていた。深井  
戸四ヶ所、浅井戸六ヶ所の内、  
浅井戸の分について平瀬浄水場  
に膜ろ過による高度浄水処理施  
設を平成十五年に完成させた。  
このシステムは低圧RO膜とNF  
膜による浄化処理方法である。  
これが三基で稼働している。こ  
の膜処理は硝酸性窒素、細菌、  
農薬等の化学物質が除去できる  
高度なシステムとなっていた。給  
水人口が二万五千人のこの町で

三基の稼働を考えると豊丘村  
では一基で浄水処理能力がある  
のではと感じた。しかし一基で  
も数億円かかるであろう建設費  
が大きな課題である。この浄水  
処理に取り組んだ当時、ちっ素  
の値は三〇四ppmだったと聞  
く。この低い値でも将来に亘って、  
安心な水の供給に取り組んだ多  
度津町の意識の高さが伺えた。

葉っぱで

一大町おこし

—徳島県上勝町—

二日目は徳島県にある人口二  
千人余りの上勝町を訪ねた。こ  
こは大小五十五の集落が点在し  
ており六十五歳以上の人口が約  
半数という厳しい状況の過疎の  
町である。山深い不利な過疎の  
条件を逆手にとり、一大町おこ  
しをしたのがこの上勝町である。

一大町おこしの取り組みとは、  
どこの山や庭にもある紅葉、柿  
の葉、南天、椿の葉や梅、桜  
の花等を料理のつまに商品化  
し、日本全国の料理店等に買っ  
てもらうというもの。もちろん、  
このアイデアが長い年月をかけ  
住民の理解を得て軌道に乗るま  
での苦労は、筆舌に尽くしがた  
いものがあつたと推察される。  
葉っぱなので取り扱いも軽く、  
お年寄り(特に女性)にはびつ  
たりの仕事である。今では、二  
百人近いおばあちゃんたちが年  
商二億六千万円を売り上げてい  
る。多い人は年収一千万円とい  
う人もいる。中には、九十四歳  
のおばあちゃんも現役で生き生  
きと働いて、この町では寝たき  
りのお年寄りは少ないとのこと。  
又、この上勝町は、ゴミ収集  
車の走らない町としても注目さ  
れている。昨年からゴミを三十  
五種類に徹底分別し、町内に一ヶ  
所だけあるゴミステーションに  
自ら持ち込んでいく。管理人も  
置いているので、きちんと仕分  
けされている。いつでもゴミを  
持ち込めるので、家の中にゴミ  
は貯まらないのが最高である。車  
に乗れないお年寄りのゴミは、  
ボランティアが運搬を代行する  
等、住民一丸となって自然の保  
全に努めている。

保育所

民営化の実状

—香川県善通寺市—

三日目は香川県善通寺市にあ  
る公設民営の保育園「カナン子  
育てプラザ21」を視察した。今、  
多くの自治体で検討されている  
保育園の民営化の実状を見てき  
た。善通寺市は人口三万五千人  
の町で、保育園は公立が四ヶ所、  
民間が三ヶ所と  
なっている。市  
は平成十三年に  
四億七千万をか  
けこの保育園を  
建設し、運営主  
体を民間に委託  
した。市民(特  
に父母)の反応  
は、民間になる  
と保育の質、給  
食の質が公立に  
比べ落ちるので  
はないかという  
声が多かったと  
いう。しかし、  
それも体験を通  
し、又、アンケ  
ー調査等を実施  
し行政が行うメ  
ニューだけでなく、  
多様なメ  
ニューが民間で

行えること等が理解されスタ  
トした。現在百二十名の定員  
いっぱいまで運営されている。  
この三日間の視察は多種に亘  
り、どれもが今後、豊丘村に  
とつても重要な課題ばかりであ  
つた。今後の村政運営の上で取  
入れることは積極的に検討すべ  
きである事を強く心にうけとめ、  
これからの議会活動に活かして  
いきたい。(川野)



上水道、浄化処理施設にて

シリーズ「私、がんばっています」

今回は中平で仕事や子育てのかたわら、地域のお付き合いなどで力を発揮する中村清美さんを紹介します。

清美さんを紹介するには、まず消防団長の奥さんと先に紹介すれば分かると思います。

家族はご主人の和土さん、和土さんの両親、子ども三人の七



私の一言

食品偽装、年金、温暖化、殺人事件と様々な事が起きる中、気になるのが、家族を殺した、親が子を、子が親を、と言う事だ。家族共に生活をしている中でなぜそんな事になってしまったのだ。普段会話がでないか、反面気楽で、言いたいことを言い合っているうちにちよっ

我慢・辛抱のできる子に

中 宮 小 椋 正 紀

とした言い合いからけんかになって、そんな中で身近な人に言われた一言が「クソ、殺してや」とエスカレートし、示しがつかなくなり殺人という行動になってしまふのか。数年来「キレタ」と言う言葉を聞くがそれが言葉だけにとどまらずとんでもない行動、殺人にまで繋がることになるのは恐ろしい。「キレタ」時に一呼吸し間をおくことが出来れば、気も落ちつき冷静になれば心のコントロールも出来そんな行動を起こさずにすむのではないか、今「我慢、辛抱」が出来ない子供、させない親が多い様に思う。物があ

年ほど前に立派なお神輿を更新しました。中平には二十代から三十代の若い女性の集まりがあり、その女性の方々の華やかさが一層、神輿を盛り上げています。飯田まで、担ぎ方や甚句を習いに行き、お祭りが近くなると車の中や、お風呂の中で甚句の練習をするのだそうです。結婚してから十七年。今、家族にぎやかで、全員健康で過ごして居られるのが何よりの幸せと言



「中平神輿」の華 中村清美さん

うことです。仕事は衣類の訪問販売。週に一回は「河野フレンド」というソフトバレーのチームに入り楽しんでます。趣味においてもカラオケ、おしゃべりなどで生活にメリハリをつけています。息子さん二人がサッカー、娘さんはバレーボールをやっております。送迎も大変とのことですが、試合のたびに家族で応援に行く事が、忙しくても楽しい時だと感じていました。中平には住宅団地ができ、その団地に来た人達にも是非仲間に入って欲しいと願っておられました。

編集後記

▼薄く残った雪が印象的であった元旦の朝、交わすことばの中に誰もが実感し共通した話題が灯油、ガソリン、軽油の値段高騰に始まり盗難事件。疑問は誰もが持つ。原油はあらゆる製品に加工がされていて、こんな品物にも値上げがと思われることがあるだろう。生活防衛を必然的にしていかなければならない為に有効的な節約術を心掛けたい。▼村では低所得世帯に対して、冬場に必要とされる灯油に焦点を絞り、負担の軽減を目的として、期間限定で福祉灯油券の支給をすることに一月の臨時議会で決定し、実施することとなる。該当になる皆さんは有効的に利用して寒いこの時期を乗り越えて貰いたいと思います。▼昨年十二月十四日に庁舎議員控室に十五代議長として、活躍頂いた吉川玲前議長さんの掲額式が前期の議員、現議員、村長、副村長同席の場で行われた。吉川前議長さんご苦労様でした。